

ボーリング柱状図

調査名 県道志賀島循環線土質調査委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2		調査位置	福岡市東区大字志賀島地内			北緯	33° 39' 47.411"											
発注機関	福岡市東区地域整備部地域整備課			調査期間	平成 23年 2月 21日 ~ 23年 2月 22日			東経	130° 17' 50.086"										
調査業者名	西日本地質防災株式会社 電話 (092-566-8022)		主任技師	現場代理人	丸目伸一	コア鑑定者	丸目伸一	ボーリング責任者	永崎健太										
孔口標高	1.33m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南		地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°		使用機種	試錐機	YBM-05		ハンマー	落下用具		半自動落下	
総掘進長	9.00m	度	0°		向			エンジン	NF80		ポンプ	GP-3							

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験 (月日)	掘進			
												深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10							20		
	0.53	0.80	0.80		砂	淡黄灰				海浜砂。細砂~中砂。															
1	-0.27	0.80	1.60		砂礫	暗緑灰				φ10~30mmの亜円礫主体。最大礫径は40mm程度。一部は粘土が多い。	1.15	8	8	5	21/30	21									
2					砂	暗青灰				細砂と中砂の互層。1.85~2.00m間に黄緑灰色の粗砂を挟む。	1.45	4	1	2	7/30	7									
3	-2.22	1.95	3.55		砂	暗青灰					3.15	3	2	2	7/30	7									
4	-2.67	0.45	4.00		粘土質細砂	暗灰				細粒分を多く含む均質な細砂。	3.45	2	2	2	6/30	6									
5	-3.67	1.00	5.00		シルト混じり砂	暗灰~青灰				細粒分を含む細~中~粗砂。	4.15	2	2	2	6/30	6									
6	-4.32	0.65	5.65		粘土質細砂	暗緑灰				粘土分を多く含む細砂。	4.45	1	2	1	4/30	4									
7	-4.77	0.45	6.10		砂	茶褐				二次マサで、地山状を呈する。	5.15	8	15	17	40/30	40									
8	-6.97	2.20	8.30		花崗岩・砂質土	茶褐				風化が著しく、砂質土化している。コアは指圧にて容易に砂状になる。	6.15	4	7	14	25/30	25									
9	-7.67	0.70	9.00		花崗岩・軟岩	茶褐				風化が進行して、コアは指圧にて容易に潰れる程度の硬さである。	7.15	14	16	17	47/30	47									
											8.15	23	17	10/6	50/26	58									
											9.31														

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。